

商業（観光ビジネス）

履修単位	2単位	学 年	3年
学科コース	商業科 ・ 地域連携	区 分	必修
使用教科書	『観光ビジネス』（190東法 商業739）		
副教材等	『観光ビジネス 準拠ワーク』（東京法令出版）		

1. 科目を通じた学習内容と学習目標

- (1) 観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

企業における事例など観光ビジネスに関する知識と技術を身に付け活用し、観光ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、観光ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を身に付けよう。自ら観光ビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、観光資源の効果的な活用、観光の振興策の考案と実施などに責任をもって取り組もう。

- ・日頃から新聞、テレビ等のニュースに触れたり、様々な場面で観光ビジネスに興味をもち、学習内容と関連付けてほしいです。
- ・地域連携活動に取り組む際、地域の方とやりとりをしながら活動をする機会もあります。自分の考えを伝えたり、相手と意見交換をする活動などを通して、他者との良好な人間関係をつくる力を身につけ、地域の良さや課題と向き合い、自分も地域の一員であるという気持ちや郷土を大切にすることを育んでください。また、観光ビジネスの学習内容と関連付けながら活動し、どうすればより良くなるのだろうかという視点をもって学習に取り組みましょう。
- ・2月に実施される商業経済検定に挑戦し、学習の到達度をはかることができます。

3. 科目を通じた評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	企業における事例など実際の観光ビジネスと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ観光ビジネスに関する知識と技術を身に付けている。	観光ビジネスをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、観光ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、観光ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力が身に付いている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら観光ビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識を持ち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、観光資源の効果的な活用、マーケティング、観光の振興策の考案と実施などに責任をもって取り組んでいる。
評 価 方 法	定期考査，単元テスト 小テスト，レポート 等	定期考査，単元テスト 小テスト，グループ活動 レポート，発表(プレゼンテーション) 等	振り返りシート 授業への取り組み 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（単元）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 年間を通じた学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標（ねらい）	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
1 学期	第1章 観光とビジネス	<ul style="list-style-type: none"> 観光ビジネスの中心産業がサービス産業であり、サービス自体の無形性、生産と消費の同時性、消滅性、季節による需要の変動が大きいこと、供給量の調整が困難であることなどの特徴をもつことについて扱う。 観光に関する消費行動の変化による観光の多様化及び訪日旅行、海外旅行、国内旅行、宿泊旅行、日帰り旅行など国内の身近な地域をはじめ日本における観光ビジネスの動向について扱う。 	観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスの概要と課題について理解している。	○			
	第1節 観光とビジネス						
	第2節 観光ビジネスの動向		観光ビジネスの動向に関する課題について、消費行動の変化や日本経済の変化と関連付けて見いだしている。		○		
			観光の変化について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスの動向に主体的かつ協働的に取り組んでいる。			○	
	第2章 観光資源	観光資源は自然観光資源と人文観光資源、複合観光資源に分類できることを学習する	国内の観光資源がもつ特徴や役割、課題について、具体的な事例と関連付けて理解している。	○			
	第1節 観光資源の分類	自然、景勝地、歴史遺産、伝統工芸、郷土料理、風習、美術館・博物館、伝統行事など国内の身近な地域をはじめ日本に存在する主要な観光資源について、産業、気候、歴史、文化などと関連付けて学習する。	国内の観光資源がもつ特徴や役割、課題について、具体的な事例と関連付けて理解している。	○	○		
	第2節 国内の観光資源 中間考査		国内の観光資源について自ら学び、それぞれの観光資源の特徴や役割などを踏まえて、効果的に活用していくことを主体的かつ協働的に取り組んでいる。			○	
	第3節 観光資源の魅力を高める方策	観光資源を観光対象とするための方策について学習する。	地域の観光資源を活用するための方策について理解している。	○			
	第4節 観光資源の保護と保全	観光資源の保護と保全の重要性及び観光が地域社会に与える影響について学習する。	観光資源の保護と保全の重要性及び観光が地域社会に与える影響について、事例と関連付けて考察し、課題を見いだしている。			○	
	第3章 観光政策	日本における観光政策の動向について学習する。	観光振興条例や観光計画の意義と課題について、日本における観光政策のを理解し、具体的な事例と関連付けて考察し、表現している。	○	○		
	第1節 観光政策の動向	観光地域におけるマーケティングやマネジメントなどによりまちづくりを行う組織など観光振興の組織について学習する。また、日本におけるDMOの位置づけや登録制度について学習する。	観光振興の組織について自ら学び、観光協会やDMOの取り組みを調べるなどして、主体的かつ協働的に取り組んでいる			○	
	第2節 観光振興の組織 期末考査						

2 学 期	第4章 観光ビジネスとマーケティング	・宿泊業，飲食業，旅客輸送業，旅行業など観光ビジネスの各主体に関して，役割や業務などの概要及び関連する法規の概要について学習する。	・観光ビジネスの主体となる宿泊業，飲食業，旅客輸送業，旅行業などの役割や業務について，事例と関連付けて理解している。	○			
	第1節 観光ビジネスの主体						
	第2節 観光ビジネスにおけるマーケティングの特徴	・観光情報の発信，観光キャンペーンの実施，対象となる顧客や顧客の居住地域などを踏まえたプロモーションなど実際の観光ビジネスにおけるマーケティングの特徴について学習する。	・観光ビジネスにおけるマーケティングについて自ら学び，地域や企業の事例から，どのようなマーケティングが行われているのかを調査して分析するなどして，主体的かつ協働的に取り組んでいる。			○	
	中間考査						
	第3節 顧客の理解 第4節 顧客サービス	・地域や年代による味覚や嗜好の違い，ライフスタイルによる旅行目的の傾向など観光ビジネスにおける顧客の特性について学習する。また，国内の身近な地域をはじめ日本を訪れる観光客の多い国などに関する文化と習慣について学習し，日本との違いを考察する学習活動を取り入れる。	・地域や年代による味覚や嗜好の違い，ライフスタイルによる旅行目的の傾向など観光ビジネスにおける顧客の特性について事例と関連付けて理解している。	○			
	期末考査		・ホスピタリティの考え方や接客の重要性について具体的な事例と関連付けて考察し，どのような接客が好ましいかなど，自分なりに考え，表現している。			○	
3 学 期	第5章 観光ビジネスの展開と効果	・観光の振興と地域社会におけるまちづくりとの関係及び連携することの意義について学習する。また，エコツーリズム，グリーンツーリズム，フードツーリズム，インフラツーリズムなどの観光需要や観光目的に対応したまちづくりについて学習する。	・観光振興によるまちづくりについて，具体的な事例と関連付けて理解している。また，関係人口が重視されつつある現状を理解するとともに，ニューツーリズムの概要と役割について具体的な事例と関連付けて理解している。	○			
	第1節 観光振興とまちづくりの関係 第2節 観光に関する地域の課題						
	第3節 地域の活性化	・観光ビジネスが産業の振興，雇用と税収の増加，社会基盤の整備など経済的，社会的な効果をもたらすことについて扱い，観光ビジネスに関するこれまでの学習内容を踏まえて，国内の身近な地域に存在する観光資源についての認知度や来訪者などの調査，観光資源となりうる資源を見いだす学習活動及び観光ツアーなどの観光商品の企画，既存の観光商品のブランド力の向上，観光振興を目指したイベントの企画とマネジメント，観光に関する情報の発信など観光の振興策を考案する学習活動を行う。	・地域ならではの資源に着目した観光を推進することの重要性について，事例と関連付けて理解している。 ・観光による地域の活性化について自ら学び，これまで学習した内容を踏まえながら地域の資源を活用した観光商品を企画したり，事例を調査したりするなどして，主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○	○
学年末考査							